※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２５

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校日本史」（山川出版社）						
副教材等	詳説日本史スタンダードテスト、日本史重要語句 CheckList						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「日本史探究」は１年「歴史総合」で学んだ近現代の歴史（幕末以降の「近代化」「国際秩序の変化や大衆化」「グローバル化」）の前段階、日本文化の始まりから室町時代までの歴史を詳しく学習します。
授業は、講義を中心にアクティブラーニングを加味して進める予定です。講義の部分では、初めて聞くことに素直に感動してください。アクティブラーニングでは、しっかり自分の考えを持ち、それを表現しましょう。歴史に興味・関心を持ち、自ら学習を深める姿勢を育ててください。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
「学びに向かう力、異文化理解への基礎力育成」日本史の学習をふまえて、日本の伝統文化に関心と知識を持ち、日本社会と国際交流の課題を主体的に解決しようとする力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	１章日本文化のあけぼの	１日本文化の始まり	a: 日本列島での旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 b: 考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化を踏まえて旧石器・縄文文化の社会を考察し、表現している。 c:黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成を考察して、旧石器文化・縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察
		２農耕の開始	a:大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を理解している。 b: 小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 c:日本列島における農耕社会の特色と、国家の形成につながる社会構造の変化を考察することで、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。			
	２章　古墳と大和政権	１ 古墳文化の展開	a: 国家の形成と古墳文化を、中国・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 b: 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察
		２飛鳥の朝廷	a: 推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 b: 仏教の受容や遣隋使の派遣など大陸との交流について、資料で考察した結果を、根拠を示して表現している。 c:中国・朝鮮との関係などに着目し、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察
	３章　律令国家の形成	１律令国家への道	a: 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 b: 天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 c:隋・唐との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察

※令和４年度以降入学生用

２学期		２平城京の時代	a：平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。 b：文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。 c：平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目し、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ	授業ﾉｰﾄ レポート 課題 授業観察
		３律令国家の文化	a：隋・唐との関係と文化への影響などに着目し律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。 b：盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。 c：隋・唐から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ	授業ﾉｰﾄ レポート 課題 授業観察
		４律令国家の変容	a：東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 b：蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現している。 c：東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察して、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ	授業ﾉｰﾄ レポート 課題 授業観察
	４章　貴族政治の展開	１摂関政治	a：藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 b：奈良時代の政治や平安初期の政治改革も比較して摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 c：唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ	授業ﾉｰﾄ レポート 課題 授業観察
		２国風文化	a：大陸からの文物の定着を前提に、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解している。 b：国際関係の変化や遣唐使廃止を踏まえ、浄土教の出現による浄土信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達に着目し、貴族の生活文化の特色を考察･表現している。 c：平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ	授業ﾉｰﾄ レポート 課題 授業観察

※令和４年度以降入学生用

		３荘園の発達と武士団の成長	a：地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。 b：文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。 c：国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察
	５章　院政と武士の進出	１　院政の始まり	a：貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 b：武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 c：中世社会の特色を多面的・多角的に考察して、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察
		２　院政と平氏	a：平氏政権の台頭とその背景や宋との交易を、資料から情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 b：武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察
３学期	６章　武士政権	１鎌倉幕府の成立と展開	a：諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立、承久の乱などについて理解している。 b：幕府と朝廷の二元的支配構造の特色を、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 c：鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成の課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察
		２モンゴル襲来と幕府の衰退	a：宋・元などユーラシアとの交流に着目し、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響を理解している。 b：鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	３鎌倉文化	a：公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 b：宋・元との交流の窓口や貿易の担い手を視野に入れ、ユーラシアとの交流を多角的に考察し、表現している。 c：鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ	授業ﾉｰﾄ レポート 課題 授業観察
７章　武家社会の成長	１室町幕府の成立	a：鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 b：南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：武家政権の変容や東アジア情勢の変化に着目し、資料を活用して前後の時代のつながりを見出そうとしている。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ	授業ﾉｰﾄ レポート 課題 授業観察
	２幕府の衰退と庶民の台頭	a：諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 b：自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ	授業ﾉｰﾄ レポート 課題 授業観察
	３室町文化	a：経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。 b：室町時代の文化の特徴と、当時の政治･経済の動向との関係を多角的に考察し、根拠を明確にして表現している。 c：室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ	授業ﾉｰﾄ レポート 課題 授業観察
	４戦国の動乱	a：守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 b：戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。 c：15 世紀から 16 世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ	授業ﾉｰﾄ レ ポ ー ト 課題 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度